

2010年3月期 第2四半期決算説明会 資料

2009年11月11日

 **古河機械金属株式会社**

* 本資料の予想につきましては、説明会開催日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

当社を取り巻く経営環境の変化

☆経営環境が大きく変化

- 金融不安に端を発した世界同時不況の発生
- 為替、金属・原油価格が大きく変動

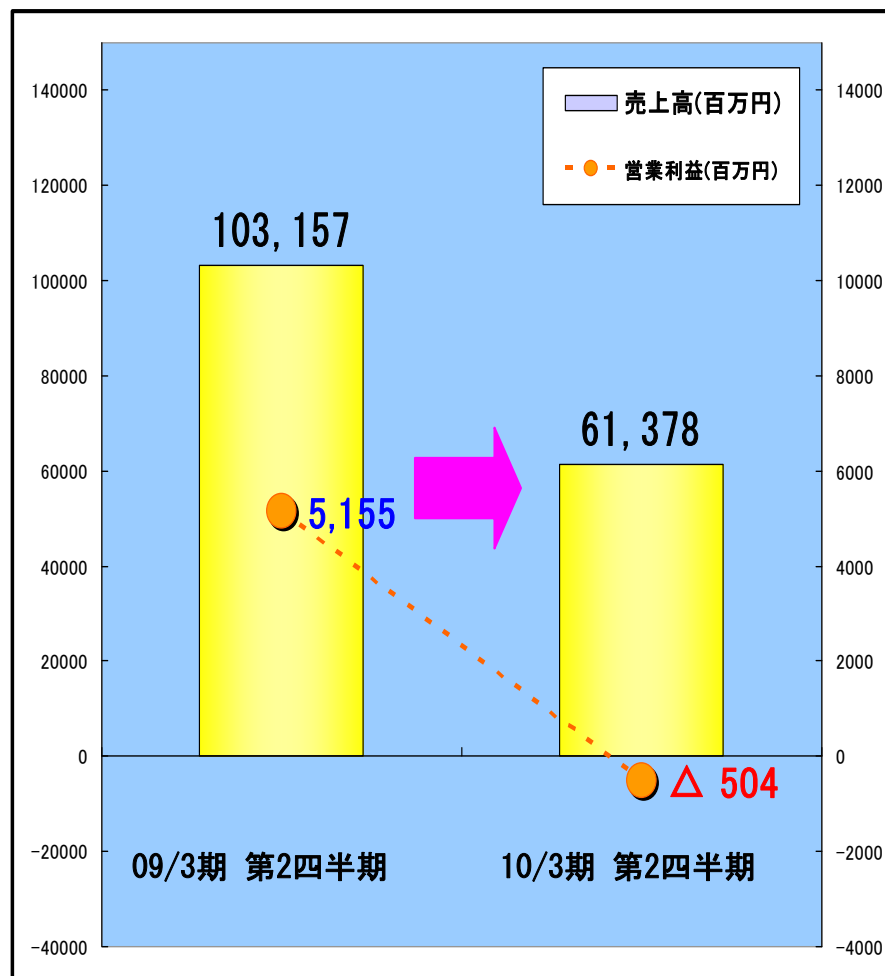
☆当社に対する影響

- 景気減退による国内外売上が大幅に減少
- 円高による収益悪化

<具体的な影響>

- 海外展開を加速していたロックドリル事業が世界的需要減退を受け、
欧米を中心として海外売上高が激減
- 国内設備投資減退などにより、普通トラック登録台数が激減した影響を受け、
ユニック製品販売減少
- 需要減退、円高により、銅販売数量・金額が減少
- IT不況により電子事業における主力結晶製品の出荷量減少

連結業績の概要 (第2四半期)



主要因

〔金属・電子化成品〕

金属・電子化成品部門は黒字確保するも、
金属部門は、銅価格下落と円高による売上減少

また、電子部門はIT不況により主力結晶製品の出荷量減少

〔産業機械〕

民間設備投資不振により、ポンプ、破碎機類、スクリーンなど販売減

〔ロックドリル〕

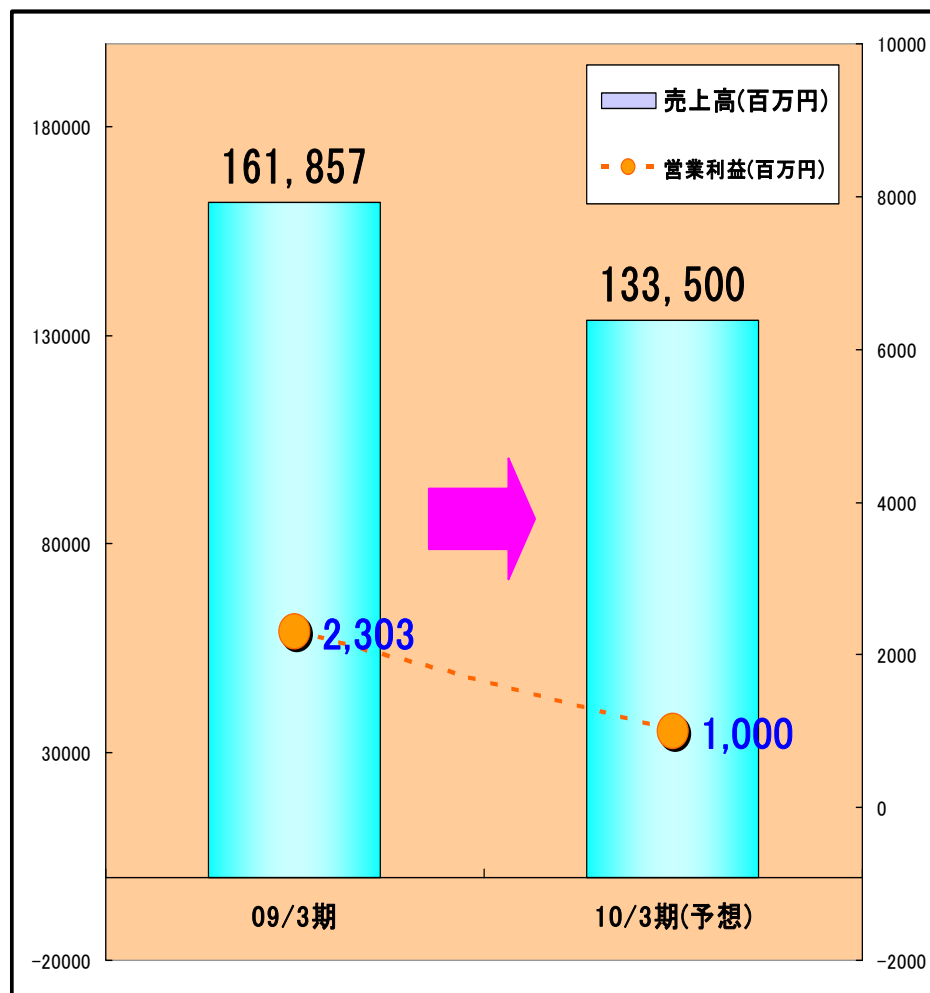
世界同時不況により、海外売上高の減少に加え、在庫調整による採算悪化

〔ユニック〕

普通トラック登録台数激減に伴う国内販売減少

⇒ 機械部門 営業損失計上

連結業績の概要 (2010/3月期 通期予想)



主要因

〔ロックドリル〕

中国、一部改善の兆しが見られる
中東などに拡販を進めるも、日米
欧が依然低迷

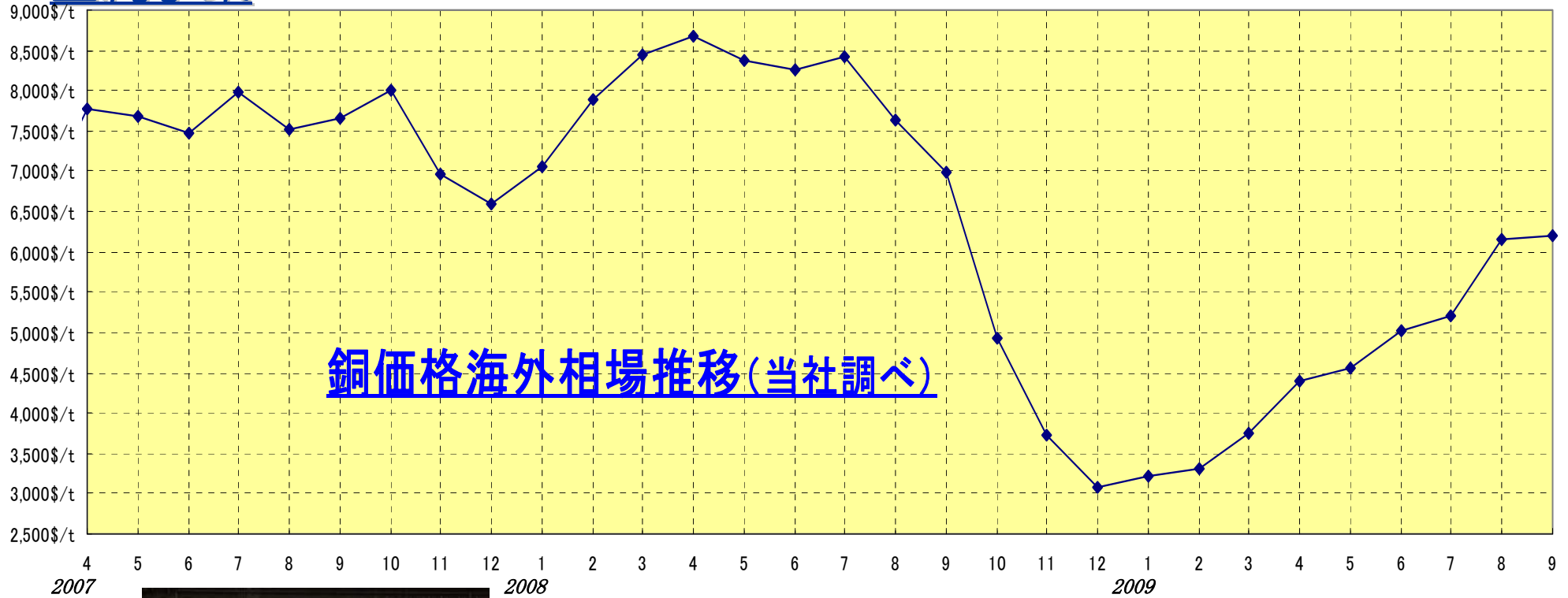
〔ユニック〕

普通トラック販売の立ち上がりが
想定より遅れ、輸出についても依
然需要の回復が見込めない状況

〔電子〕

主力結晶製品が電子デバイス、
光デバイス向けに立ち上がり
はじめる

金属事業

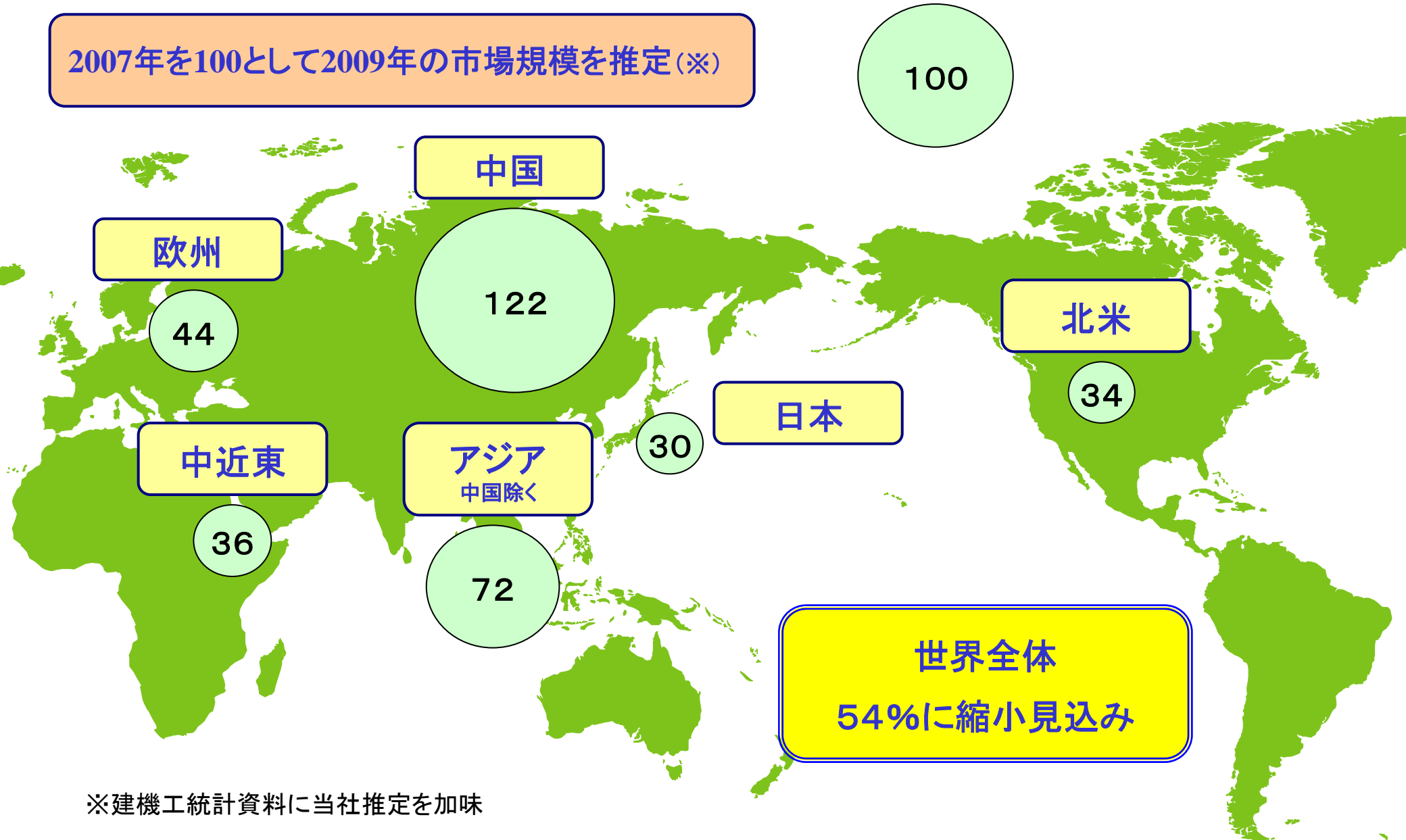


当社想定	10年3月期	10年3月期	
	期初予想	(第2四半期)	(3~4四半期想定)
銅価格海外相場(平均・\$/t)	(4,000)	5,261	5,500
円相場 対米ドル(平均・円/\$)	(95.0)	95.5	93.0

第2四半期累計期間においては、当社想定を上回る銅価上昇傾向の中、当社 期初予想に比べ増収増益となったが、通期については、引続き円高、低水準の買鉱条件などにより 厳しい状況が続く

建設機械（油圧ショベル）の世界市場規模予測

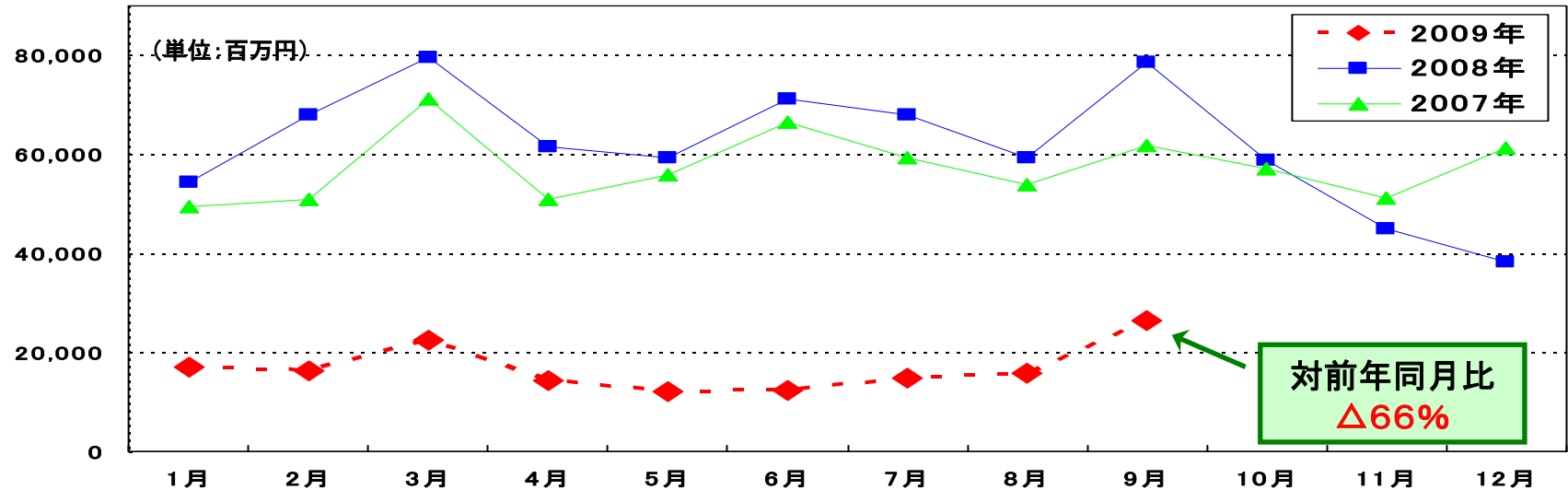
2007年を100として2009年の市場規模を推定(※)



※建機工統計資料に当社推定を加味

ロックドリル事業

建設機械（油圧ショベル）輸出出荷金額統計（日本建設機械工業会統計データより）



油圧ショベルの
アタッチメントとして
使用される油圧ブレーカ

世界市場
シェア30%
(油圧ブレーカ・
クローラドリル)

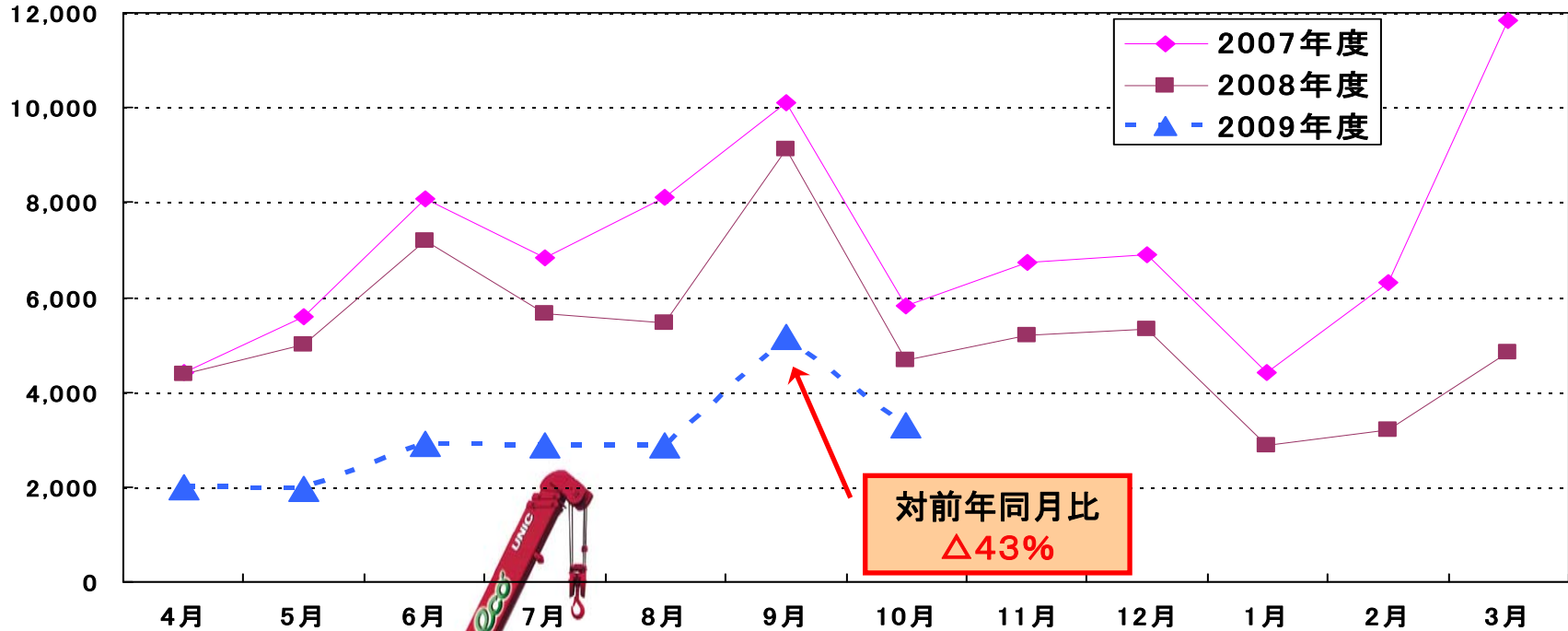


インフラ整備用
などに用いられる
油圧クローラドリル

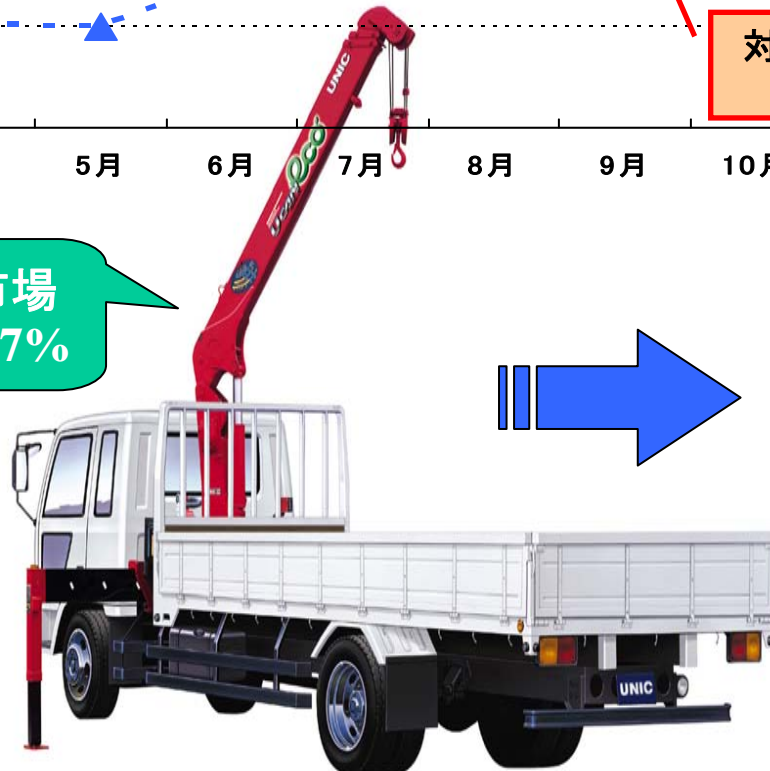
インフラ整備・住宅・砕石・土木工事向け ロックドリル製品需要が激減

ユニック事業

国内普通トラック登録台数（当社調べ）



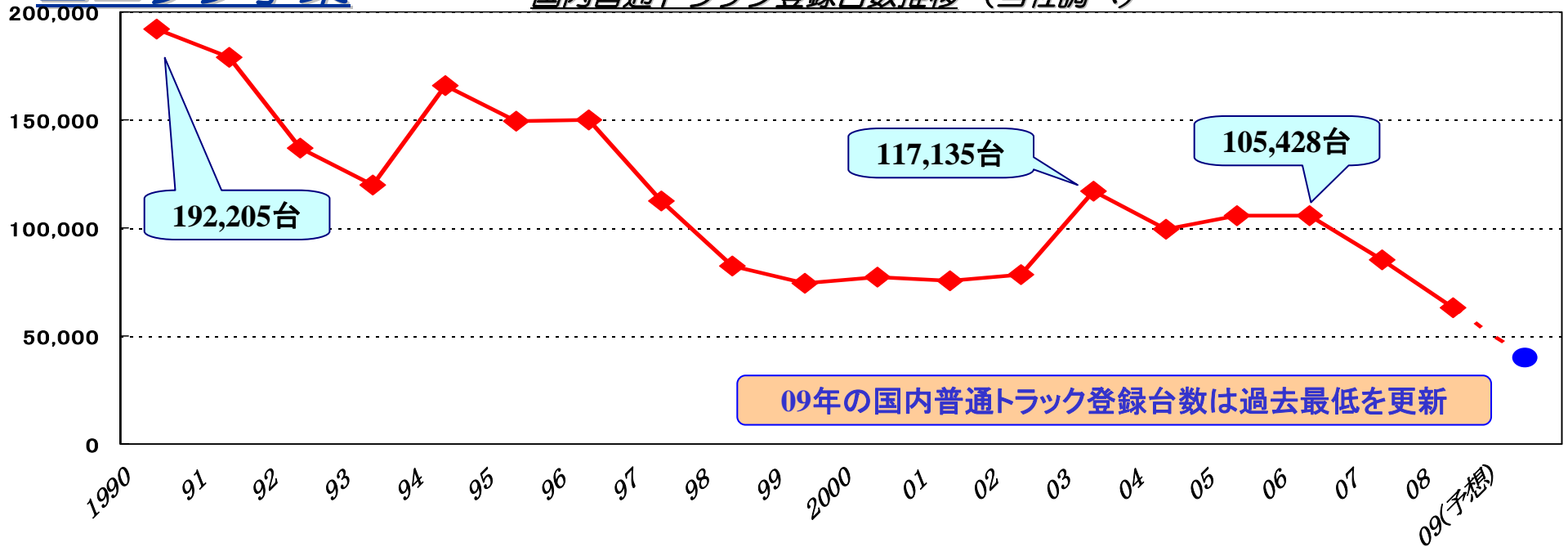
国内市場
シェア47%



トラック登録台数激減に伴い、主力のトラック搭載型「ユニッククレーン」の販売が大幅に減少

ユニック事業

国内普通トラック登録台数推移 (当社調べ)



ミニ・クローラクレーン

ユニックパル (折り曲げ式)



オーシャンクレーン



普通トラック需要に左右されない製品を拡充

【今後の施策】油圧ブレーカ〔ロックドリル主力製品〕の使用用途 事例

インフラ整備

各種工事



碎石



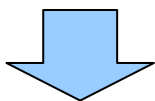
整地・解体



【今後の施策】 ロックドリルの中国展開

土木建設関連の投資案件

- ・交通インフラ整備
- ・農村インフラ整備
- ・公共住宅建設
- ・四川震災復興 など



ロックドリル需要拡大

油圧ブレーカ

土木工事向け
破碎・爆砕
(二次破碎)向け



クローラドリル

破碎・爆砕向け



海外販社のFRD上海の営業事務所を
北京と成都に開設

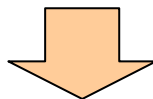
代理店の営業・サービスのサポート強化



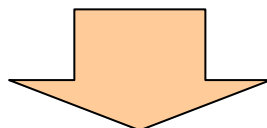
【今後の施策】窒化ガリウム (GaN) 基板の量産化に向けて



2008年4月
ナイトライド事業室を新設



2009年4月
新棟を建設し拠点を集約



ナイトライド事業室 開発新棟

GaN基板の可能性

現在

- ・ブルーレイなどに使用される青紫レーザーダイオード用

将来

- ・蛍光灯に変わる照明としての高輝度白色LED用
- ・電気自動車などに用いられるパワーデバイス用

ユーザーの要求するスペックのGaN基板の開発はほぼ完了

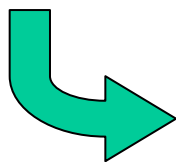
販促ツールを整備し本格的に営業を開始

開発品から量産品へ製造プロセスを移行、コストダウンを図る

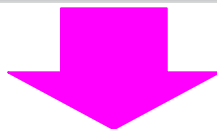
【コストダウン・生産性向上】モノ革による生産改革（一例）



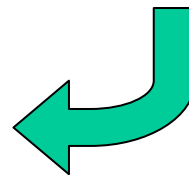
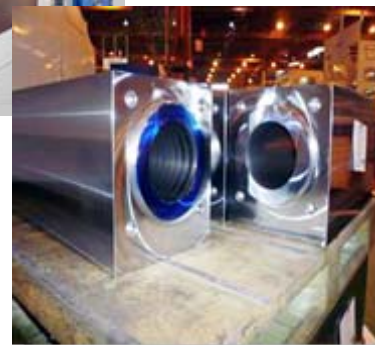
熱処理設備増強による
内作比率アップ



油圧ブレーカ



高効率
マシニングセンター
導入による
リードタイム短縮

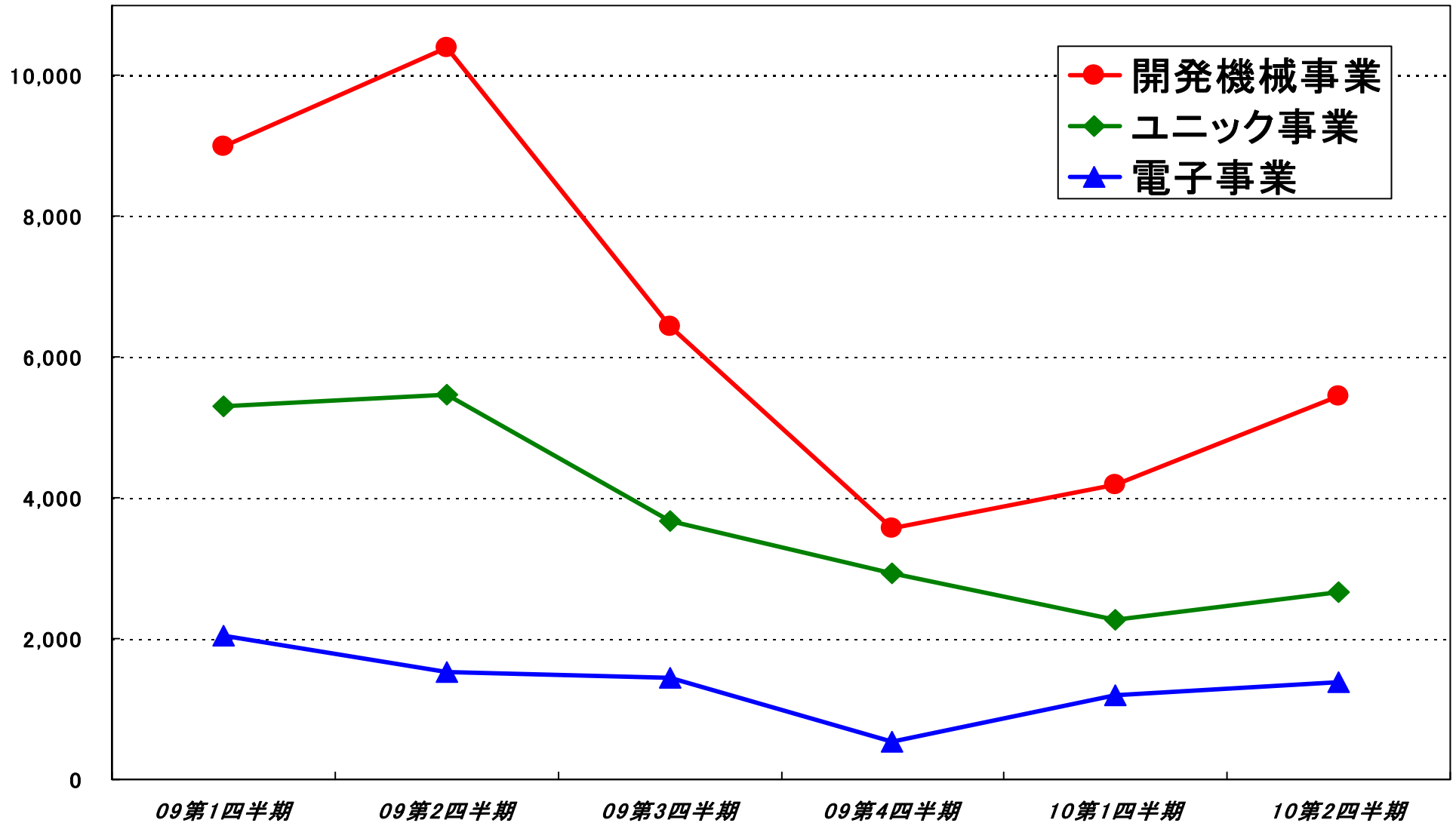


コストダウン、生産性アップを目指す

【コストダウン・生産性向上】コスト削減策の実施

- 役員・従業員給与カット
- 設備投資の抑制
- 出張費用、広告調査費、
交際費などの各種経費削減

【開発機械・ユニック・電子事業 四半期毎の部門別売上高推移】



未だ低水準ではあるものの、09年第4四半期を底に回復基調にある

決算及び予想(連結)

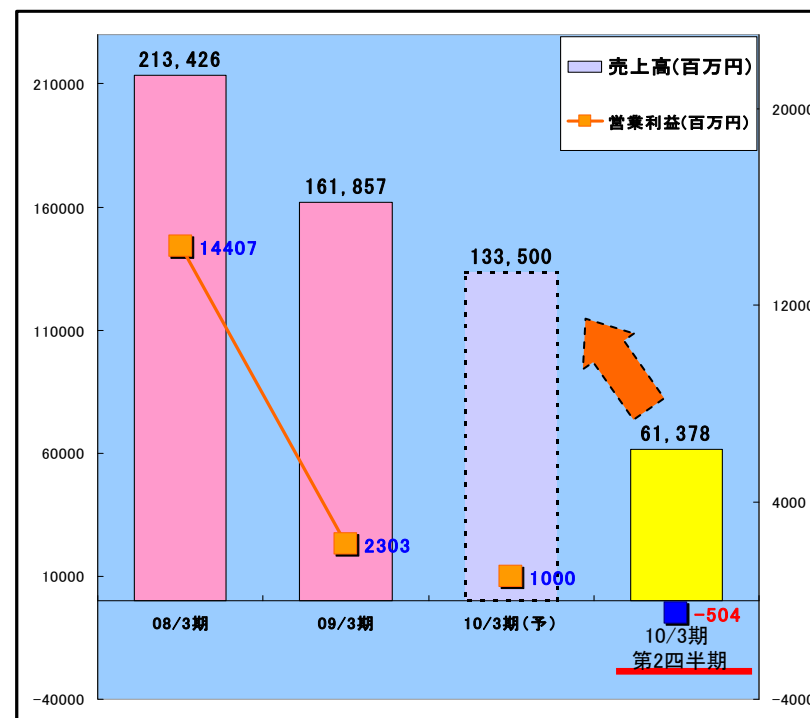
〔業績〕

(単位:百万円)

	前第2四半期 (09年3月期)	当第2四半期 (10年3月期)	増減額	前年度 09年3月期	当年度(予想) 10年3月期	対09/3期 増減額
売上高	103,157	61,378	△41,779	161,857	133,500	△28,357
営業利益	5,155	△504	△5,660	2,303	1,000	△1,303
経常利益	4,339	△1,134	△5,473	993	△500	△1,493
当期純利益	1,560	△839	△2,399	△5,917	100	6,017

〔財務状況〕

		前期 (09年3月末)	当第2四半期 (09年9月末)	増減額
総資産	百万円	188,361	191,779	3,418
純資産	百万円	45,742	48,989	3,247
自己資本比率	%	23.7	24.9	1.2
1株当たり純資産	円	110.31	118.28	7.97



部門別業績(連結)

〔売上高〕

(単位:百万円)

	09年3月期第2四半期	10年3月期第2四半期	増減額	09年3月期	10年3月期(予想)	対09/3期増減額
機械部門	36,886	19,416	△17,470	62,639	46,600	△16,039
（産業機械）	(6,709)	(4,830)	(△1,878)	(15,836)	(14,400)	(△1,436)
（開発機械）	(19,403)	(9,643)	(△9,760)	(29,427)	(21,100)	(△8,327)
（ユニツク）	(10,773)	(4,941)	(△5,831)	(17,375)	(11,100)	(△6,275)
金属部門	48,851	30,912	△17,938	68,786	62,400	△6,386
電子化成品部門	6,847	5,029	△1,818	11,388	10,900	△488
（電子）	(3,574)	(2,588)	(△985)	(5,568)	(5,400)	(△168)
（化成品）	(3,273)	(2,440)	(△832)	(5,820)	(5,500)	(△320)
不動産部門	1,313	1,081	△232	2,386	2,050	△336
燃料部門	8,625	4,520	△4,105	15,452	10,600	△4,852
その他	633	418	△214	1,204	950	△254
合計	103,157	61,378	△41,779	161,857	133,500	△28,357

〔営業利益〕

(単位:百万円)

	09年3月期第2四半期	10年3月期第2四半期	増減額	09年3月期	10年3月期(予想)	対09/3期増減額
機械部門	2,512	△2,157	△4,670	1,733	△1,600	△3,333
（産業機械）	(76)	(△78)	(△154)	(767)	(800)	(32)
（開発機械）	(1,432)	(△1,343)	(△2,776)	(255)	(△1,800)	(△2,055)
（ユニツク）	(1,003)	(△735)	(△1,739)	(710)	(△600)	(△1,310)
金属部門	1,963	1,324	△638	23	1,500	1,476
電子化成品部門	499	59	△439	206	500	293
（電子）	(241)	(45)	(△195)	(4)	(350)	(345)
（化成品）	(258)	(14)	(△244)	(201)	(150)	(△51)
不動産部門	400	600	199	706	1,050	343
燃料部門	10	△21	△32	202	0	△202
その他	△86	△195	△108	△304	△370	△65
小計	5,301	△389	△5,690	2,567	1,080	△1,487
消去又は全社	△145	△115	29	△264	△80	184
合計	5,155	△504	△5,660	2,303	1,000	△1,303

部門別業績(連結)の主な増減説明

〔売上高〕

(単位:百万円)

	10年3月期 第2四半期	対前年同期 増減額	主な増減説明
機械部門	19,416	△17,470	
（産業機械）	(4,830)	(△1,878)	国内設備投資減少によるポンプ、破碎機類、スクリーンなどの売上減
（開発機械）	(9,643)	(△9,760)	世界需要減退により日米欧を中心としてロックドリル製品売上減
（ユニック）	(4,941)	(△5,831)	普通トラック登録台数落込みに伴う国内販売減少
金属部門	30,912	△17,938	銅価格下落(対前年同期比)、円高に伴う販売価格下落並びに銅需要落込みに伴う販売量減による売上大幅減
電子化成品部門	5,029	△1,818	
（電子）	(2,588)	(△985)	高純度金属ヒ素を含む主力結晶製品などの売上減
（化成品）	(2,440)	(△832)	主原料の品不足による亜酸化銅出荷減など
不動産部門	1,081	△232	
燃料部門	4,520	△4,105	需要減退に伴う販売数量減並びに販売単価下落による売上減
その他	418	△214	
合計	61,378	△41,779	

〔営業利益〕

(単位:百万円)

	10年3月期 第2四半期	対前年同期 増減額	主な増減説明
機械部門	△2,157	△4,670	
（産業機械）	(△78)	(△154)	
（開発機械）	(△1,343)	(△2,776)	海外出荷減少並びに工場操業度低下に伴う採算悪化による利益減
（ユニック）	(△735)	(△1,739)	国内販売減少並びに工場操業度低下に伴う採算悪化による利益減
金属部門	1,324	△638	円高及び販売数量減少による利益減ほか
電子化成品部門	59	△439	
（電子）	(45)	(△195)	売上減等による利益減
（化成品）	(14)	(△244)	売上減等による利益減
不動産部門	600	199	古河ビル(東京・日本橋)取得に伴う利益増
燃料部門	△21	△32	
その他	△195	△108	
小計	△389	△5,690	
消去又は全社	△115	29	
合計	△504	△5,660	

連結損益計算書

(単位:百万円)

	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	増減額
売上高	103,157	61,378	△41,779
売上原価	89,230	55,086	△34,144
売上総利益	13,927	6,292	△7,635
販売費及び一般管理費	8,771	6,797	△1,974
営業利益(△損失)	5,155	△504	△5,660
営業外収益	765	777	12
受取配当金	296	160	△135
雇用調整助成金収入	-	180	180
その他	468	436	△31
営業外費用	1,581	1,407	△174
支払利息	965	824	△141
その他	616	583	△32
経常利益(△損失)	4,339	△1,134	△5,473
特別利益	2,596	29	△2,567
固定資産売却益	2,593	29	△2,564
その他	2	0	△2
特別損失	3,362	280	△3,081
固定資産除売却損	762	73	△689
減損損失	-	202	202
テナント退去補償関連費用	1,305	-	△1,305
投資有価証券評価損	1,025	-	△1,025
その他	268	4	△263
税金等調整前中間純利益(△損失)	3,573	△1,385	△4,959
法人税、住民税及び事業税	479	106	△373
法人税等調整額	1,487	△682	△2,169
少数株主利益	46	29	△16
(第2)四半期純利益(△損失)	1,560	△839	△2,399

運賃諸掛減少、
給与カット、各種経費
削減による減

土地 減損損失

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前期 (09年3月末)	当第2四半期 (09年9月末)	増減額		前期 (09年3月末)	当第2四半期 (09年9月末)	増減額
流動資産	77,509	77,765	256	流動負債	64,275	62,007	△ 2,267
現金及び預金	19,349	21,915	2,566	支払手形及び買掛金	16,560	16,834	273
受取手形及び売掛金	19,542	17,613	△ 1,929	短期借入金	31,312	31,496	184
商品及び製品	13,034	9,858	△ 3,175	未払法人税等	827	109	△ 717
仕掛品	6,370	5,846	△ 523	引当金	128	123	△ 5
原材料及び貯蔵品	9,670	15,433	5,762	その他	15,446	13,443	△ 2,003
その他	9,967	7,403	△ 2,563	固定負債	78,343	80,781	2,438
貸倒引当金	△ 424	△ 306	118	長期借入金	61,162	62,695	1,533
固定資産	110,851	114,013	3,161	引当金	1,465	1,173	△ 292
有形固定資産	84,082	83,511	△ 570	その他	15,715	16,913	1,197
土地	56,160	56,151	△ 8	(負債合計)	142,619	142,789	170
その他	27,922	27,360	△ 561	(純資産の部)			
無形固定資産	211	226	14	資本金	28,208	28,208	-
投資その他の資産	26,557	30,275	3,718	利益剰余金	16,386	15,056	△ 1,330
投資有価証券	19,240	23,915	4,675	自己株式	△ 43	△ 44	△ 1
その他	8,969	7,981	△ 988	(株主資本合計)	44,551	43,219	△ 1,331
貸倒引当金	△ 1,653	△ 1,622	31	その他有価証券評価差額金	△ 2,076	2,515	4,591
資産合計	188,361	191,779	3,418	繰延ヘッジ損益	△ 137	141	278
				土地再評価差額金	3,673	3,558	△ 114
				為替換算調整勘定	△ 1,426	△ 1,631	△ 205
				(評価・換算差額等合計)	33	4,584	4,550
				少数株主持分	1,156	1,185	28
				(純資産合計)	45,742	48,989	3,247
				負債・純資産合計	188,361	191,779	3,418

保有投資有価証券の株価上昇に伴う増

※09年9月末有利子負債(社債及び借入金) 残高 942億円<対09年3月末 17億円増>

2009年3月期 業績予想(連結)並びに主な増減説明

〔売上高〕

(単位:百万円)

	09年3月期	10年3月期 予想	対09/3期 増減額
売上高	161,857	133,500	△28,357
営業利益	2,303	1,000	△1,303
経常利益	993	△500	△1,493
当期純利益	△5,917	100	6,017

	10年3月期 (予想)	対09/3期 増減額	主な増減説明
機械部門	46,600	△16,039	
(産業機械)	(14,400)	(△1,436)	
(開発機械)	(21,100)	(△8,327)	世界需要回復遅れによる出荷減を見込む
(ユニック)	(11,100)	(△6,275)	普通トラック需要回復遅れに伴う国内販売減少を見込む
金属部門	62,400	△6,386	銅価格下落(対前期比)並びに円高に伴う販売価格下落などによる売上減を見込む
電子化成品部門	10,900	△488	
(電子)	(5,400)	(△168)	電子デバイス、光デバイス向け主力結晶製品が立ち上がりはじめているものの本格的な回復までには至らず
(化成品)	(5,500)	(△320)	
不動産部門	2,050	△336	
燃料部門	10,600	△4,852	上半期の販売数量減並びに販売単価下落による売上減
その他	950	△254	
合計	133,500	△28,357	

〔営業利益〕

(単位:百万円)

	10年3月期 (予想)	対09/3期 増減額	主な増減説明
機械部門	△1,600	△3,333	
(産業機械)	(800)	(32)	
(開発機械)	(△1,800)	(△2,055)	出荷減並びに工場操業度低下に伴う採算悪化による利益減を見込む
(ユニック)	(△600)	(△1,310)	出荷減並びに工場操業度低下に伴う採算悪化による利益減を見込む
金属部門	1,500	1,476	(前年度下半期に銅価格下落に伴う在庫評価減計上)
電子化成品部門	500	293	
(電子)	(350)	(345)	主力結晶製品需要一部回復に伴う利益改善を見込む
(化成品)	(150)	(△51)	
不動産部門	1,050	343	古河ビル取得に伴う利益増を見込む
燃料部門	0	△202	
その他	△370	△65	
小計	1,080	△1,487	
消去又は全社	△80	184	
合計	1,000	△1,303	

〔前提条件〕

銅価 09年度上期実績 5,261\$/t

09年度下期想定 5,500\$/t

為替 09年度上期実績 95.5円/\$

09年度下期想定 93円/\$

設備投資・減価償却費の状況(連結)

(単位:百万円)

	08年3月期	09年3月期		10年3月期	
		(第2四半期)	(通年)	(第2四半期)	(通年予想)
機 械 部 門	2,496	/	1,736	/	850
金 属 部 門	122		297		350
電 子 化 成 品 部 門	353		1,465		250
不 動 産	805		215		150
燃 料 そ の 他	159		643		700
設備投資合計	3,934	1,861	4,357	1,269	2,300
減 価 償 却 費	2,993	1,537	3,144	1,615	3,200

対前年比△20億円減

<主な設備投資>

- ・足尾地区
独身寮・社宅新築
- ・その他は必要最低
限の設備更新に
留める

金属製品・為替の状況(連結)

		08年3月期	09年3月期		10年3月期	
			(第2四半期)	(通年)	(第2四半期)	(3~4四半期想定)
銅海外相場(平均)	¢/ポンド	344.0	365.7	266.0	238.6	249.5
	\$/トン	7,584	8,062	5,864	5,261	5,500
円相場 対米ドル平均(円/\$)		114.28	106.11	100.54	95.49	93.00
《古河メタルリソース(株)生産販売》		08年3月期	09年3月期		10年3月期	
			(第2四半期)	(通年)	(第2四半期)	(通年予想)
銅 生産量(t)		95,355	47,019	90,023	40,575	83,496
銅 販売量(t)		95,808	48,549	88,989	44,813	86,496

需要低迷により減産継続

従業員の状況

	07年3月末	08年3月末	09年3月末	09年9月末	対09/3末増減
連結人員(名)	2,279	2,286	2,290	2,276	△ 14
単独人員(名)	(206)	(210)	(196)	(197)	(1)